

2017 年度事業報告書

特定非営利活動法人 移動サービスアクセス

1. 事業の成果

2002 年に任意団体で外出支援サービスを開始し、2005 年に法人格取得、2012 年に神奈川県指定 NPO 取得、2013 年には認定 NPO を取得しました。開始当初の利用会員は高齢の方ばかりでしたが、知的障がい児・者のご利用が増えたことにより横浜市ガイドボランティア事業の事務取扱団体となり、その後横浜市地域生活支援サービス「通学通所支援」制度スタート時から参入しています。現在では毎月 6 割以上がこの制度を利用しています。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

I. 移動制約者に対する外出支援を行なう福祉有償運送事業

内 容：だれでもいつでもどこへでも自由に外出できる社会をめざして
「車による送迎」と「介助」で外出支援

日 時：年間を通して

場 所：青葉区、都筑区、緑区を中心として

従事者人員：運転会員（13 名）

介護福祉士 1 名、ヘルパー 2 級 3 名、初任者研修修了者 1 名、知的障害者ガイドヘルパー 10 名
受益対象者：3 月末現在利用会員（31 名）延べ実利用人数：345 人（月平均 28.8 人）

活 動 件数：3,295 件（前年比 100%） 3,589 トリップ（前年比 102%）

目的別内訳：通 院 84 トリップ（前年比 93%）

通学・通所 （自費） 871 トリップ（前年比 152%）

（ガイドヘルプ事業利用） 2,385 トリップ（前年比 102%）

合 計 3,340 トリップ（前年比 117%）

そ の 他（入所施設と自宅の往復など） 611 トリップ（前年比 120%）

活 動 時間：1,747 時間（前年比 96%）

支 出 額：3,290,822 円（前年比 99%）

II. 「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」（通称 障害者総合支援法）に基づく移動支援事業

内 容：「養護学校/個別支援級」と「自宅/放課後等児童デイサービス 等」間、「自宅」と
「作業所/地域活動ホーム 等」間を『通学通所支援制度』を使って車で送迎

日 時：年間を通して

場 所：青葉区、都筑区、緑区を中心として

従事者人員：運転会員（13 名）

受益対象者：利用会員のうち制度契約者数 20 名

活 動 件数：2,385 件（前年比 102%）
・通学： 362 件（前年比 82%）
・通所：2,023 件（前年比 107%）
支 出 額：2,191,548 円（前年比 127%）

Ⅲ. 「横浜市障害者ガイドボランティア事業事務取扱団体」としての事業

内 容：「個別支援級への通学」「放課後等児童デイ・作業所への通所」「視覚障害者の外出サポート」
等のための、「横浜市ガイドボランティア制度の周知」および「コーディネートの実施」
日 時：年間を通して
場 所：青葉区、都筑区、緑区を中心として
従事者人員：コーディネート 1 名
ボランティア：26 名
受益対象者：支援対象登録者 18 名
活 動 回 数：1,005 件（前年比 77%）
支 出 額：892,404 円（前年比 73%）

Ⅳ. デイサービス施設の送迎受託事業

実施できませんでした。

Ⅴ. 生活の質を高めるためのお出かけプラン提供事業

利用会員が変化し、平日は通学や通所されている方がほとんどなので、今年度は実施できませんでした。

Ⅵ. 知識・技術の向上に関する共育・研修事業

内 容：「横浜市ガイドボランティア制度の普及」および「ボランティア参加者の拡大」のための研
修会の開催
日 時：7/13、10/16、10/26、2/2、2/6、2/16
場 所：青葉・都筑・港北・鶴見 の 各区内
従事者人員：延べ 35 名
受益対象者：参加者 57 名
支 出 額：475,109 円

Ⅶ. その他、この法人の目的達成に必要な事業

内 容：地域福祉を豊かにしていくため、他団体・他機関と連携
日 時：年間を通して
場 所：横浜市内
従事者人員：3 名
受益対象者：横浜市民
支 出 額：43,420 円